非機能要求グレード2018の

研修会シラバス

2018年4月25日

○○○○株式会社

目　次

[１．学習内容の概要 1](#_Toc348099890)

[２．研修会の位置づけと狙い（達成目標） 1](#_Toc348099891)

[３．大まかな講義・演習計画 1](#_Toc348099892)

[3.1講義 1](#_Toc348099893)

[3.2演習付き講義 1](#_Toc348099894)

[3.3受講者理解度テストとアンケート 2](#_Toc348099895)

[3.4実施時間 2](#_Toc348099896)

[４．受講対象者 2](#_Toc348099897)

[５．受講に際して前提とする知識など 2](#_Toc348099898)

[６．使用教材及び資料 3](#_Toc348099899)

[７．定員 3](#_Toc348099900)

# １．学習内容の概要

本研修は情報システムのシステム基盤を構成する非機能要求について、独立行政法人情報処理推進機構（IPA）が策定した非機能要求グレードを用いて、受講者が非機能要求の定め方を学習することを目的としている。要求定義・機能要求・非機能要求・非機能要求グレードなど概要への理解を深めながら、演習を通して非機能要求の決定方法を体験的に学ぶ。

# ２．研修会の位置づけと狙い（達成目標）

受講者が非機能要求グレードの使い方を理解し、受講後は、受講者自らシステム基盤の非機能要求定義ができるようになることを目指す。

また、非機能要求の決定のための方法の学習にとどまらず、ステークホルダ（発注者、受注者だけでなく、経営層や業務部門、運用部門などの関係者も含む）間の合意形成の重要性とその実際の基本的な合意形成法の学習を目指す。

# ３．大まかな講義・演習計画

研修主催者が、講義のみ、または演習付き講義のいずれかを選択できる研修とする。

## 3.1講義

非機能要求グレードに関して、次の内容の講義を実施する。

・要求定義の重要性

・非機能要求の機能要求との関係や課題

・非機能要求グレードの概念と構成

・非機能要求グレードを用いた非機能要求項目の決定法

・非機能要求項目を決める際の留意点

・機能要求検討時の非機能要求グレード利用法

・非機能要求の適用事例

## 3.2演習付き講義

（１）講義

　3.1節に示す講義を実施する。

（２）演習

グループ演習で、非機能要求グレードの検討・決定方法を学ぶ。1グループは受講者4名～5名で構成する。一回の演習で3テーマを設定する。演習2ではロールプレイングによる演習を行う。各テーマの演習終了後、グループ発表を行う。

## 3.3受講者理解度テストとアンケート

研修終了後のクロージング時に非機能要求グレードに関する理解度テスト(10問)とその解説、および、アンケートを実施する。

## 3.4実施時間

（１）講義のみの場合　　：1時間55分　（オリエンテーション10分＋講義90分＋クロージング15分）

（２）演習付き講義の場合：4時間55分　（内訳は下記の表参照）

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| No | 研修内容 | 実施時間 |
| 1 | オリエンテーション | 10分 |
| 2 | 講義 | 90分 |
| 3 | 休憩 | 10分 |
| 4 | 演習1（発表を含む） | 45分 |
| 5 | 休憩 | 10分 |
| 6 | 演習2（発表を含む） | 45分 |
| 7 | 休憩 | 10分 |
| 8 | 演習3（発表を含む） | 60分 |
| 9 | クロージング | 15分 |

# ４．受講対象者

・情報システムの企画担当者

・要件定義担当者

・情報システムのインフラ設計担当者

・情報システムのインフラ運用担当者

・開発標準化担当者

・品質保証担当者　など

# ５．受講に際して前提とする知識など

　受講に際しては、以下の知識を有していることが望ましい。

①情報システムの開発プロセスについて概略を理解していること

②要求分析について概略を理解していること

③システム基盤について基本的な知識を有すること

# ６．使用教材及び資料

　講義、及び演習で使用する教材と資料を以下（１）～（３）に示す。

（１）講義用教材

①非機能要求グレード研修教材　講義用スライド

（２）演習用教材

　　　①非機能要求グレード研修教材　演習スライド

　　　②非機能要求グレード研修教材　システム概略説明書

　　　③ワークシート

　　　　（非機能要求まとめシート、課題管理表、要求整理シート、解答シート、解答例、気付きシート）

（３）講義・演習共通資料

①IPA発行資料

　　　　・システム基盤の非機能要求に関するグレード表

　　　　・システム基盤の非機能要求に関する項目一覧

　　　　・システム基盤の非機能要求に関する樹系図

　　　　・非機能要求グレード活用シート

　　　②非機能要求グレードの項目サマリ

講義のみの研修で必要な教材及び資料と、演習付講義の研修での必要な教材と資料の組合せは次の通り。

　・講義のみの研修の場合：　（１）講義用教材＋（３）講義・演習共通資料

　・演習付講義の場合：　（１）講義用教材＋（２）演習用教材＋（３）講義・演習共通資料

# ７．定員

1) 講義のみ：100名を目安とする。

2) 講義＋演習の場合：20名を目安とする。

・演習はグループ演習とし、1グループ4名（3～5名も可）でチームを編成する

・演習では、講師のほかにサブ講師1名が講師の補助を担当する